

市長への手紙

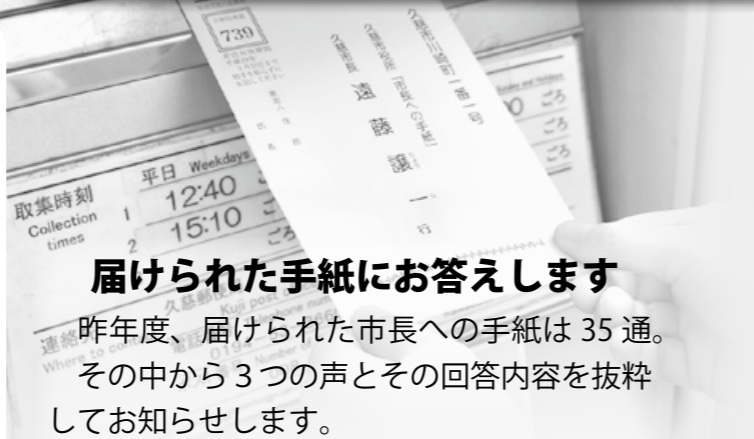


遠藤 譲一 市長

ご意見・ご提言をお待ちしています

「市長への手紙」には、日ごろ感じていることや久慈市の将来など、市政に関することを自由にお書きください。お互いに意見・提言を交わしながら一緒に考え、協力して笑顔日本一のまちをつくっていきましょう。

※「市長への手紙」の用紙は、市ホームページに掲載するほか、広報くじ5月1日号に折り込んで配布しております



届けられた手紙にお答えします

昨年度、届けられた市長への手紙は35通。その中から3つの声とその回答内容を抜粋してお知らせします。

☎ 地域づくり振興課 ☎ 52-2116

若者世帯に町内会加入の推奨を

早朝一斉草刈など若者世帯の参加がなく、高齢者世帯の負担を感じます。区長会などで町内会への加入を奨励してほしいと思います。

答

町内会は地域住民の生活環境の整備や、地域活性化に寄与しており、市と連携した地域づくり活動を進めるパートナーとして、市ではその重要性を認識しています。

一方、町内会は組織体制や活動内容などを町内会ごとに定める任意団体であることから、行政から個々の世帯に対して町内会への加入を奨励することは難しい状況です。

地域コミュニティの核となる町内会活動の重要性について、引き続き市民総参加のまちづくりの観点から周知を図りたいと考えています。

☎ 地域づくり振興課

☎ 52-2116

親子で気軽に休める場所の設置を

中心市街地に、未就学児の親子が気軽に立ち寄り昼食をとったり、子どもが靴を脱いで自由に休めるような場所がほしいです。

答

子育て支援センターやつどいの広場の設備環境の充実と利便性の向上を図っていきます。

また、駅前を整備する複合施設に図書館と市民が交流する機能を取り入れ、児童書コーナーを親子が触れ合えるスペースとしての活用を想定しています。また、市民の要望が多いコンビニまたは喫茶店の入店を予定しており、食事をとりながら滞在できる施設にしたいと考えています。靴を脱ぎ休めるスペースについては、今後の設計業務の中で検討していきます。

☎ 子育て支援課

☎ 52-2169

☎ 市街地活性化推進課

☎ 52-1525

産婦人科医の確保で安心のお産を

ハイリスク分娩でも県立二戸病院に搬送されることなく、市内で安心して出産ができるように、産婦人科医の確保をお願いします。

答

市では医師養成奨学金制度や市内出身の医学生等に対して地元での就労をお願いしています。他にも県立久慈病院の研修医から学生に体験談を話してもらったり、積極的に参画し、長期的な視野に立った人材発掘に取り組んでいます。

また昨年度からは妊産婦支援策として、ハイリスク分娩により二戸病院等で出産する場合の妊婦健診に係る交通費や出産時の付添者の宿泊費に補助を実施しています。

安心して市内での出産と育児ができるように、引き続き医師確保と支援体制の充実に努力していきます。

☎ 保健推進課 ☎ 61-3315

平成29年度 主な新規事業紹介

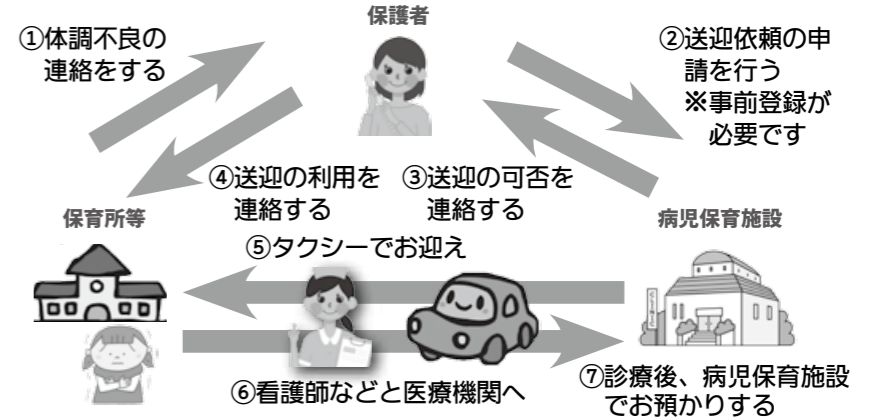


市では、限られた財源の中で、子育て環境の充実、健康づくり、地域づくりなど、住民生活に密接に関係する新規事業を実施します。

⑥ 病児・病後児保育事業
546万円

保育所などに通っている子どもが体調不良となり、保護者が迎えに行くことができない場合に、病児保育施設の看護師などがタクシーで迎えに行き診療後に病児保育施設で預かります。

事業主体は病児保育を実施している関連子どもクリニック。市は送迎などの費用を助成し、仕事と育児を両立できる環境の充実に向けて取り組むもので、県内初の事業です。



⑥ 旧山根小中学校施設活用事業 6399万円

旧山根小中学校施設を市民センターとして改築。地域コミュニティ活動の拠点形成を図るもので、ふるさと未来づくり事業などを通じて、地域主体の地域づくり活動を促進します。今年度は、設計と工事を実施する予定です。

地方創生に係る連携協定 調印



調印を終えた明和町の中井町長（右）と遠藤市長

幅広い連携 展開に期待

NEWS 三重県明和町と地方創生で連携協定

3月27日、市は三重県明和町との間に「地方創生に係る連携協定」を締結しました。協定は市と同町が地方創生推進交付金第2次申請に共同申請し採択された「ヘルスツーリズム導入による自治体連携 健康づくりのまち推進事業」の効果的な事業促進や地域活性化を図るもの。観光教育、産業、健康づくり、移住定住、ヘルスツーリズムなど幅広い分野での連携協力が進められます。市と同町が皇学館大学の千田良仁准教授に



協定書へ調印を行う両首長

地方創生アドバイザーを委嘱している縁で事業の共同申請と協定の締結が実現しました。協定書の調印を終えた遠藤譲一市長は「念願の協定を締結しました。ヘルスツーリズムという新しいテーマで明和町と地方創生への取り組みを進めていきます。また、締結を機に自治体の連携だけでなく、民間の交流も積極的に進めたいと思います」とあいさつ。中井幸充町長は「久慈市との取り組みを通じ、健康づくりと観光で地域の活性化を図りたいと考えています。協定締結により、住民向けの健康づくりだけでなく、幅広く広域的な取り組みになることを期待しています」と今後の展開に期待を寄せました。